

年長 稲刈り～脱穀 大切に育ててきた稲が、金色に輝き、頭を垂れ、いよいよ稲刈りの時期を迎えました。初めは先生が手を持ち、次からは自分一人で鎌を持ち刈っていききました。刈る度に鎌の扱い方、刈り方が上手になり安心して見ていただけるほどに。収穫した稲は、昨年刈った稲わらを使って縛り、馬にかけ、一週間干しました。



次は干した稲を脱穀します。千歯扱き（せんばこき）で勢いよく、「だっこー」と言いながらおこないました。取り切れないものは割り箸と手で脱穀します。今回はもみすり、精米などの作業に入っていきます。お楽しみに！



とんとん昔話の会 ハ王子の昔話

語り部さんのお話しに、年中、年長も、本当に良く聞いていました。合間にわらべ唄や手遊びも披露して下さいました。今度は秋祭りに来て下さいませ。お楽しみに！



年少 森へ ぐりとぐらのおうちへ！

運動会の前に、親子競技で行った「ぐりとぐら」の住む世界に行ってみよう！ということで、森へ。森の奥に行くと、そこには、ぐりとぐらが住んでいるお家がありました！運動会の導入をかねて森に親しみを抱くことを目的に行いましたが、お話の世界に入り込んで、楽しむことができました！運動会でも楽しんでいましたね！



森を進むと、、、奥の奥のそのまた奥の広場に、ぐりとぐらのチョコッキや帽子が！ そうだ！ここがおうちだ！



今、お昼ご飯の木の实を取りに行っているんだって！ 僕たちも拾ってきたドングリや実をあげよう！

年長 森へ 森博士と色々なドングリを育てよう！

いつも当園の「森のようちえん」活動や、森林教育でお世話になっている多摩森林学園の大石先生にお越し頂き、一緒に森に入り、森の様々な発見をしながら、ドングリを拾って園庭に植える・・・という活動をしました。

園庭「森のひろば」周辺の樹林は、私たちが管理をしていかなければならない里山林です。ある程度の樹齢を迎えたら切り倒していき（倒木更新）必要があります。しかし、森の広場が木々に囲まれた豊かな環境であり続けるためには、新たに苗を育てなければなりません。子ども達が拾ったドングリを植える為のドングリ畑をつくり、育てていきます。これを毎年行っていくことで、豊かな「森のひろば」であり続けることができます。



森のステージで大石先生からドングリと動物のお話。森では「動物さんの分を残しておく」ことが大切！



同種のドングリでも個性があって皆違う。 ドングリ以外にも森の不思議を発見。 広場でお気に入りのドングリを発表！ 150個ほど植えました。

年少クッキング 「白玉団子 きなこ黒蜜のせ」



白玉粉をこねて、、、 粘土のように丸めて・・・ 美味しく頂きました！

年中 人形劇の人形作り

紙粘土で作った人形に絵を描いたり紙を貼り付けて作りました。早速テラスでごっこ遊び？



稲刈り親睦会 <鉄腕クラブ>

親子で育ててきた棚田の稲。いよいよ収穫！棚田4枚分のうち米を収穫し、最後は豚汁を食べて収穫を祝いました。今後、秋祭りで脱穀を行い、その後、精米までの作業は園で行い、参加された皆さんにお渡しする予定です！

稲刈りは「畦塗り体験」か「田植え」に参加された方のみご案内しております。

